



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

4月号 APR 2015

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



3月28日 埼玉県所沢市の圃場 栽培品種はアース・アトン(タキイ種苗の中生種)

玉葱前線北上中

関東では桜が満開です。東京では3月29日満開となりました。今年の桜は東日本では平年より早く、西日本では平年並みか平年よりやや早い開花となったそうです。この季節になり満開の桜を見ると、気持ちが高揚しますね。日本各所で素晴らしい桜の風景が広がります。そんな日本全国で美しい風景を彩る桜の代表選手といえばソメイヨシノであると思います。

私は知らなかったのですが、ソメイヨシノという桜は人の手で作り上げられたたった1本の原木から日本全国そして世界へと広がった栽培品種なのだそうです。ソメイヨシノは1本の原木から生まれ、全てのソメイヨシノが同じ遺伝子をもっており、同じ種類同士では受粉しないという特徴があるそうです。桜の実ってあまり見たことがないな～と思っていたのですが、そういう理由なのだそうです。(近くに他の品種がある場合は受粉し、実をつけるそうです。)

マルト便でも度々ご報告をさせて頂いていますが、生産者さんを訪問し、農作物の生育状況等を畑に見に行く機会があります。畑ではたまに天候の状況から、同じ畑でも農作物の生育にバラツキが出ている状況などを目にすることがあります。そんな経験をしていたので、私は桜の開花ってなぜ毎年一斉に始まるのだろうと疑問に思っていました。その理由は前述の通り、ソメイヨシノが全て同一遺伝子であるからだったのです。

桜が人工的に作られ、人工的に増やされたものであるということに対しては様々な意見はあるかと思いますが、日本人にこれほど愛される花も他にないと思います。私は心を豊かにしてくれる桜が大好きです。

さて、前段が長くなりましたが、桜同様、日本人に愛され、食卓になくってはならない玉葱ですが、3月26日に弊社契約パートナー産地のJA前橋市様と今期栽培玉葱の出荷会議を実施しました。5月20日頃から出荷開始に向けて、現在のところ非常に順調に生育しているとのことでした。

JA前橋市清里支所様からは毎年5月20日～6月一杯、非常においしい玉葱を出荷して頂いております。契約パートナーとして長いお付き合いをさせて頂いている産地様です。出荷まで残り1カ月半、現時点では玉肥大が始まった段階で、天候が安定して推移してくれば今年は豊作型になりそうとのことです。弊社玉葱加工のパートさんにも大人気な清里産の玉葱。今から楽しみです。

また、今期から地元埼玉県所沢の玉葱栽培農家様とのお付き合いがスタートしました。弊社三芳工場からほど近い畑で玉葱が栽培されています。こちらの取組はまだ始まったばかりですが、地元生産者様としっかりタッグを組んで玉葱栽培の輪が広がっていくようにしていきたいと考えています。

府県産の玉葱出荷がこれから順次スタートをして参りますが、北海道産玉葱も来期に向けて動き出しております。雪解け後に27年産の定植作業が始まります。今年は融雪も早く順調なスタートとなりそうです。

ホクレン様より頂いた情報によりますと、27年産は26年産に比べて350ha増反となるようです。（加工専用面積400ha含む）帯広地区の増反が大きいようです。種子購入動向からの品種内訳予測を見ると早生玉葱が大幅に増えて、中晩成の品種が減少する模様です。生育順調と仮定して、増反のある帯広地区が年内出荷中心、早生品種が全道で増加ということで、年内出荷についてはある程度ボリュームがあり、年明け2月頃から出荷量が減少という流れを予測します。

玉葱は産地リレーが確立された品目です。桜前線のように九州から北海道まで1年を通じて、栽培・出荷されていきます。今年の見事な桜のように、玉葱前線も順調に進んでいくことを期待したいと思います。

単位:ha 出展:ホクレン

年産/作型	極早生	早生	中生	晩生	在来種	合計
27年産	480.8	4824.1	6859.3	507.3	18.8	12690.3
26年産	480.3	4167.0	7061.7	602.2	28.8	12340.0
増減	0.5	+657.1	▲202.4	▲94.9	▲10.0	+350.3

営業中村のマルチ便PLUS!

4月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産(北海道/佐賀)	北海道産玉葱の通常出荷は各農協さん4月前半で終了となります。弊社原料においてもCA貯蔵品に切り替わります。出荷価格は上昇となりますが、品質面では良質のものが入荷して参ります。また、中旬以降佐賀県産の新玉葱もスタート予定です。お客様のご用途に合わせて産地・品種ご案内をして参ります。
中国(甘肅省/雲南省)	4月中旬頃に甘肅省から雲南省に産地が切り替わる見込みです。北海道産が順調であったこともあり、荷動きはあまり良くない状況です。甘肅省産終盤となりますが、品質面は良好な状況で推移しています。潤沢な状況で雲南省産へと移行するものと思います。
アメリカ(ワシントン州 ニュージーランド)	最終盤にきており、品質劣化が進んでいます。契約数量の満了をもって今期終了となります。今後についてはNZ産の入荷を予定しています。NZ産は順調な生育の中、平年並みの出荷量となりそうです。府県の状況次第となりますが、ご興味ございましたらお問い合わせください。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315